



▶ バックアップとリカバリ環境を コントロールする 5 つの方法

ITプロフェッショナルは、その場しのぎ、という言葉に嫌というほど分かっています。複数のポイント製品を組み合わせてタスクを遂行し、ひとつのシステムとして機能させようとして、ひどい非効率が発生した経験があるからです。この手法はめったにうまくいくことはありませんし、こうした非効率をTCO（総所有コスト）分析すると、散々な結果が返ってきます。この問題を解決するためのより良い方法があります。それは、シングルプラットフォームソリューションで始めることです。今日のデータ管理に求められるいくつものニーズを取り入れるだけでなく、際限なく需要が拡大するデータ サービスの将来の問題も解決できるよう設計されているからです。

はじめから包括的で完全な統合システムとして設計されている、データのバックアップ、リカバリ、保持、検索、アクセスが行えるプラットフォームを導入することは、将来のためのシステム構築を行うにも良い機会となります。これにより、あなたの組織の多くのニーズに応え、複雑さを増すことなく、増加し続ける需要をサポートすることができるセキュアで効率的な環境を手に入れることができます。



▶ 従来の混乱を乗り越え統合を選択する

Commvault® は、過去のばらばらなポイント製品と決別し、ひとつのモダンなデータ保護と情報管理プラットフォームに取って代わることを可能にします。Commvault は、さまざまなベンダーのハードウェア スナップショットとアプリケーションをインテリジェンスに統合し、インデックス化、重複排除、レプリケーション、レポーティング、検索を可能にし、どの階層のストレージからでも効率よくデータを取得、移動、保持、検索、リカバリすることを可能にします。

さらに素晴らしいのは、シングル ユーザー インタフェースかつ共通のコードベースで設計されているという点で、リカバリ時間の短縮、リカバリ費用の削減、オペレーションの改善を実現します。

困難な現在の環境で、企業を支えるために必要とされているデータ管理への合理的なアプローチを ITプロフェッショナルに提供することができるCommvault ソフトウェアの5つの特徴を以下にご紹介します。

1: アプリケーションとの整合性

Commvault は、アプリケーション、仮想マシン、ファイル システムに対する深い知識があるので、保護しているデータを詳細なレベルまで理解し、整合性のある高速なデータ保護とリカバリを可能にします。高速で整合性のあるリカバリを可能にするテクノロジーのひとつが、Commvault ソフトウェアのハードウェア スナップショット管理技術です。これにより、複雑なスクリプトを作成することなく、ひとつの管理コンソールから、さまざまなベンダーのストレージ アレイからアプリケーションと整合性のあるスナップショットを作成することができます。またCommvaultのスナップショット技術は、スナップショットからバックアップ オペレーションを実行できるので、本番環境からバックアップ オペレーションを開放することができ、リソースの負荷を下げるすることができます。これにより、厳しさを増すSLA要求を満たし、リカバリ時間を劇的に改善し、バックアップ ウィンドウを短縮することができます。

2: スマートなデータ保持

データ管理の合理的なアプローチとは、保持すべきデータを知り、さらには業務またはコンプライアンス データを保存しておくコスト、複雑さ、リスクを下げることです。Commvault ソフトウェアは、コンテンツベースの保持ポリシーを使用し、原則 “すべて保存” というコストの掛かる従来の手法ではなく、最新の方法でデータを保持します。関連性のあるデータのみを自動で仕分け、分類、保存することで、Commvault ソフトウェアはデータ保持コストを最大70%下げることができます。ディスク、テープ、クラウド ストレージをサポートしているので、ポリシーベース、コンテンツベースで保持したデータはさまざまなユースケースで利用することができ、効率的でインテリジェントなアーカイブを実現します。たとえば、コンプライアンス、記録管理、eディスカバリー、ストレージの最適化、分析などにご利用いただけます。

3: 冗長データの排除

組織でサイロ化されたデータは、タスクの完了や共同意思決定を遅らせる主な原因のひとつになっています。最も顕著なのは、データ ストレージ コストのコントロールです。Commvault ソフトウェアのグローバル重複排除機能は、冗長データを排除し、ストレージ インフラのコストを下げるすることができます。重複排除は、ソース側でも行うことができ、ネットワークを流れるデータ量を最大90%削減することができます。そして、文字通りバックアップ時間を半分に短縮することができます。また Commvault ソフトウェアの重複排除機能は、データのコピーを遠隔地に送る際、リハイドレーション (= 重複排除したコピーを取り出し、元の形に戻す処理) する必要がないので、その効率性を最大限に活かすことができます。

関連性のあるデータのみを自動で仕分け、分類、保存することで、Commvault ソフトウェアはデータ保持コストを最大70%下げることができます。

4: 柔軟なストレージの階層化

さまざまなプロトコルで管理されたデータを保存しアクセスするというになると、必要な保護とセキュリティレベル、パフォーマンス要求、利用頻度などを考えると、1種類のストレージではすべてに対応できません。Commvaultは、リソースと予算を最適化するため階層型ストレージが必要であることを理解しています。また、障害が発生した場合は、データの迅速なグラニューラ リストア、重大な意味を持たないリコール、ほかのビジネス要求への対応も必要であることを理解しています。

モダンなデータ保護ソリューションは、仮想環境やプライベート クラウドといった異なるストレージ階層にデータのコピーを保持することで、この柔軟性を提供し、異なるデータ保持、アクセス、リカバリニーズに応えます。例えば、ひとつのCommvault ソフトウェア ソリューションで、元のデータの近くに複数のスナップショットを自動で保存することで、迅速なアイテム単位のリストアを可能にします。そして、古くなったバックアップ データはコストの低いストレージ階層へ移動することや、アーカイブ データをその情報のリコール条件にもっとも適したメディアに必要な限り保持し続けることができます。

Commvault ソフトウェアは、すべてのバックアップ データに一括管理のインデックスを作り、変更分のみを効率的に移動することでネットワークを流れるデータ量を減らし、バックアップ時間を短縮します。Commvault ソフトウェアが管理しているデータは、バックアップ データもアーカイブ データもすべて、ContentStoreと呼ばれるストレージに依存しないひとつのデータ レポジトリに保存されます。ContentStore には、既存のディスクやコモディティ ディスク、テープ、クラウド ストレージを使用することができるので、バックアップとアーカイブ データ保持のためのTCO（総所有コスト）を下げる可能性があります。

5: セキュリティ、自動化、レポート

自動化、ロールベースのセキュリティ、レポートは、Commvaultのデータ保護ストラテジーの主要基盤の一部です。例えば、ストレージとストレージ管理コストを削減するため、バックアップとアーカイブ データを最もコスト効率の良いストレージへ自動で移動できるようポリシーベースの手法と集中管理を行うことで、ほとんどすべてのマニュアル操作をなくすことができます。

Commvault はまた、今日のデータ セキュリティに対する期待を考慮に入れており、データを転送している時も、保存している時もデータを暗号化できる手段を提供するだけでなく、どのデータをどのタイプのユーザーが閲覧し操作することができるかを選択して定義することも可能にします。また、オペレーションの改善が常に図れるよう、ご利用環境の洞察を提供し、計画や予測の助けになる統合レポートもご利用いただけます。

▶ 将来のためのプラットフォームを

複数のポイント製品を使ったレガシー システムは、今日のデータ環境ではうまく動作しません。Commvaultはそのソフトウェアをシングル ソースで開発することで、ITプロフェッショナルがデータ管理の問題を効率的に解決することを可能にしています。ここでご紹介した特長 — 自動化、アプリケーションとの統合、スマートなデータ保持、冗長なデータの排除、ストレージの階層化の柔軟性、データ セキュリティー — はすべて、企業ユーザーに、彼らが今期待しているレベルの高速アクセスとインテリジェンスを提供しながらも、IT人員がコストを削減できることを目的としています。さあ、その場しのぎ、という言葉はアーカイブする時です!

「...Commvaultは、バックアップパフォーマンスを向上し、アプリケーションとデータがタイムリーにリカバリできるという強い自信を提供することで、カスタマーのデータ損失や計画外のダウンタイムのリスクを下げることに可能にします。」

— 引用: IDC OPINION WHITE PAPER

©2018 Commvault Systems, Inc. All rights reserved. Commvault、Commvault とロゴ、「六角形のC」のロゴ、Commvault Systems、Commvault OnePass、CommServe、CommCell、IntelliSnap、Commvault Edge、および Edge Drive は、Commvault Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他すべてのサードパーティのブランド、製品、サービス名、商標、または登録サービス マークは、それぞれの所有者の所有物であり、これらの所有者の製品またはサービスを識別するために使用されます。すべての記載は通知なしに変更される場合があります。



Commvault Systems Japan 株式会社 〒141-6008 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 8F

www.commvault.co.jp | PHONE: 03-5747-9610 | jpsales@commvault.com
© 2018 Commvault Systems Japan K.K. All rights reserved.